

洪水に備えて

大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

日頃からの確認



①洪水で浸水が想定される区域や避難所等を確認しておきましょう！

雨が強くなってきたら



②テレビやラジオ、インターネット等で気象情報を確認しましょう。

避難のときは



③避難の連絡があったら直ちに避難しましょう！

④避難の際はこんなことに気をつけましょう！



○【警戒レベル3】高齢者等避難が出たら

避難するのに時間がかかる高齢者などの要配慮者やその支援者は危険な場所から避難してください。高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難してください。

○【警戒レベル4】避難指示が出たら

計画された避難所等への避難行動に移るとともに、避難所等への避難が困難な場合は周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の堅固な建物)の2階以上(斜面と反対側の部屋)に避難するなど、危険な場所から避難してください。

避難情報の発令!!

避難

指定避難所

咸宜公民館

咸宜小学校

自主避難所

通報

通報先

日田市役所 防災・危機管理課
電話:0973-23-3111

日田警察署
電話:0973-23-2131(110)

日田消防署
電話:0973-24-2204(119)

～雨の強さと災害の発生状況～

1時間雨量	人が受けるイメージ	発生状況
10～20ミリ	ザーザー降る	長く続くときは注意が必要。
20～30ミリ	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50～80ミリ	滝のように降る	土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80ミリ以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。